

令和7年度心の復興交流事業補助金

団 体 名	事 業 名	事業の目的・概要	補助金額(円)
合同会社ぶらり気仙	ロスフラワー と お茶っこ活用によるココロ花咲く体験交流事業	社会課題であるロスフラワーと市内コミュニティ形成の一躍を担う「お茶っこ」文化を活用し、地域資源の魅力を再発見し、被災市民同士のつながりを深め、生きがい、やりがいを感じるコミュニティ構築を目的としています。具体的には、(1)地域資源である農業や漁業の体験学習(2)ロスフラワーを使ったワークショップ(3)名古屋のモーニング文化を学ぶ体験交流会などを実施します。被災住民に加え、友好都市である名古屋市との交流も図り、多角的な視点から地域の魅力を発信し、地域内外の人々が共に地域を盛り上げることを目指し、SDGs未来都市として復興の先の地域経済の活性化や持続可能な地域づくりにも貢献するものです。	2,000,000
特定非営利活動法人 Aid TAKATA	ゆめちゃんハウスおよび近隣公園を活用した世代間の新たな生きがいと健康づくり	交流施設みんなのゆめちゃんハウスを中心に川原川公園を活用し、幅広い年代層の方々との交流を通して文化の継承、新しいモノづくり、健康を促進し生きがい生み出すことを目的とする。	1,903,000
一般社団法人 たまご村	健康麻雀を通じた交流とコミュニティの創出による心の復興	本事業は、「賭けない・飲まない・吸わない」を合言葉に「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」を目的とした健康麻雀を軸に、多様な交流とコミュニティの創出、被災者の主体的な参加と参画を通して、心の復興を目指す事業である。具体的には、陸前高田市内の被災者を対象に、(1)健康麻雀、(2)健康麻雀大会、(3)健康麻雀の地域連携、(4)健康麻雀の自主運営支援プログラムの開発の4点を実施する。特に本補助事業は本年度で最後であるため、次年度以降も継続できる事業を被災者とともに作りあげることに注力する。	1,815,000
北限のゆず研究会	北限のゆずを活用した被災者の参加と交流による心の復興	本事業の目的は地域資源である北限のゆずを活用した、被災者の主体的な参加と多世代の交流機会の創出による心の復興である。具体的には、(1)北限のゆず狩り、(2)北限のゆずを楽しむ会、(3)北限のゆずによる多様なコミュニティ形成、の3点を被災者とともに企画及び実施する。特に本補助事業は本年度で最後であるため、次年度以降も継続できる事業を被災者とともに作りあげることに注力する。	1,884,000
合計			7,602,000